

| | | | | | | | |
|-----|-----------|-----|--------------------|----|----|-----|---|
| 科目名 | 日中比較社会論特講 | 担当者 | タカツナ ヒロフミ 高綱 博文 | 期間 | 通年 | 単位数 | 4 |
|-----|-----------|-----|--------------------|----|----|-----|---|

【科目概要】

| | | | |
|--------------|--|-----|---|
| 目的 | 本講義では、上海における日本人コミュニティの歴史と日中関係史を主要なテーマとする。はじめに、本講義は前の上海日本人コミュニティの形成・発展・崩壊の歴史過程を中心に講述する。「国際都市」上海には、戦前最も多い時に約10万人の日本人が在留し、上海「共同租界」の一角には日本人コミュニティが形成されていたが、その歴史を明らかにする。次に、日本と中国の150年の歴史を世界史の文脈において考察し、両国の「敵対」・「依存」・「相互理解」の錯綜した関係を明らかにする。それによって、歴史的視点とより正確な歴史像把握の方法を身につけ、問題発見・解決力、省察力、世界の現状を理解し説明する能力の獲得を目指す。 | | |
| 到達目標 | <p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>本講義は、近代上海における日本人の活動と意識を分析対象として取り上げ、日中関係史を歴史的に理解し、歴史学による実証的且つ批判的な研究方法論を学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>日中関係の歴史について現代的な視点から考察し、日中関係の新たな未来を創造することのできる人材を育成する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>現代中国や上海に関する映像などを多く視聴し、今後の日本が中国といかに向き合うかについて考える。 準備学修時間：6時間</p> | | |
| 学修方略 (方法) | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> manaba folio の掲示板を利用し、受講者同士の協働学習を行う（課題図書等に関する受講者同士の質疑応答・意見交換、レポートの推敲のためのピア・レスポンス等） OER を視聴し、レポートを作成する。 <p>【学修方略 (LS) と学修時間】</p> <p>(自主研究) 教材及び参考文献の検索と熟読 (レポート作成) レポートの作成・レポート推敲 (ディベート) 掲示板上のディスカッション、ピア・レスポンス (受講者同士で互いのレポートにコメントをし合い、推敲する協働活動) 上記を通じて、1つの課題につき45時間程度の時間を要す。</p> | | |
| スケジュール | <p>前期：基本教材『「国際都市」上海のなかの日本人』序章から第4章を学修し、前期レポート課題の最終提出は9月の学事暦に定める提出期日までに提出する。</p> <p>後期：基本教材『「国際都市」上海のなかの日本人』第5章から終章を学修し、後期レポート課題については1月の学事暦に定める提出期日までに提出する。</p> | | |
| 成績評価 | 種別 | 割合 | 評価基準 |
| | レポート | 75% | 教材理解度 15%, 論旨の一貫性 15%, 要約力 15%, 表現力 15%, 解釈の妥当性 15% |
| | 観察記録 | 25% | ピア・レスポンスへの参加度, レポート添削への対応等 |
| 履修者への要望 | <p>本講義は、近代上海における日本人の「帝国意識」とその行動を歴史的に検証するものであるが、レポートを作成する際には論文を作成するトレーニングであるとの自覚に基づき社会科学の方法論を積極的に修得しようとする熱意を持つことを要望する。</p> <p>なお、最終レポートは学事暦で定められた日まで提出して下さい。</p> | | |

【レポート課題】

| 基本教材 1 | |
|----------|--|
| 教材の概要 | 著者名： 高綱博文 教材名： 『「国際都市」上海のなかの日本人』（研文出版，2009年） ISBN:978-4-87-636297-4 6,500円+税 |
| | 本書の前半は、序章・第1章 上海日本人居留民社会、第2章 上海「在華紡」争議、第3章 上海事変と上海日本人居留民、第4章 日中戦争期の「租界問題」 |
| 参考図書 | 榎本泰子『上海』（中公新書, 2009年） ISBN:978-4-12-102030-7 800円+税 |
| 履修上のポイント | 本書は、上海日本人居留民社会の初期から終焉に至る時期を考察の対象としている。特に日清戦争から第二次上海事変までの社会形成・発展期に確立した社会階層及び社会組織を具体的に解明し、それを基礎として上海日本人居留民の活動及び意識を検証したところに方法論的な特徴がある。これにより上海の日本人居留民社会が他の外国人コミュニティと比較して閉鎖的・排外的な特性を帯びた要因を析出し、「国際都市」上海における日本人コミュニティの位置付けが歴史的に解明されている。 |
| レポート課題 1 | 近代上海における日本人居留民社会の形成と特徴について論述しなさい。 留意点: 本書(教材)の序章及び第1章を学習して、近代上海の歴史的な性格を明確にした上で、上海日本人居留民社会のあり方を検証すること。 |
| レポート課題 2 | 上海日本人居留民の「帝国意識」に基づく中国民衆に対する行動について論述しなさい。 留意点: 本書(教材)の第2章及び第3章を学習して、上海日本人居留民の行動を具体的に検証すること。 |

| 基本教材 2 | |
|----------|--|
| | 著者名： 高綱博文 教材名： 『「国際都市」上海のなかの日本人』（研文出版，2009年） ISBN:978-4-87-636297-4 6,500円+税 |
| | 本書の後半は、第5章 上海内山書店及び補論・第6章 上海日本人居留民の歴史意識の生成・第7章 最後の上海日本人居留民社会・第8章 上海日本人引揚者のノスタルジー・終章からなる。 |
| 参考図書 | 榎本泰子『上海』（中公新書, 2009年） ISBN:978-4-12-102030-7 800円+税 |
| 履修上のポイント | 本書は、上海日本人居留民社会の初期から終焉に至る時期を考察の対象としている。特に日清戦争から第二次上海事変までの社会形成・発展期に確立した社会階層及び社会組織を具体的に解明し、それを基礎として上海日本人居留民の活動及び意識を検証したところに方法論的な特徴がある。これにより上海の日本人居留民社会が他の外国人コミュニティと比較して閉鎖的・排外的な特性を帯びた要因を析出し、「国際都市」上海における日本人コミュニティの位置付けが歴史的に解明されている。 |
| レポート課題 1 | 上海内山書店が日中文化交流に重要な役割を果たし、その書店経営が成功した理由について考察しなさい。 留意点: 第5章及び補論を学習し、上海日本人居留民社会における内山書店の特異性を明確にし、その内山完造の中国体験を検証すること。 |
| レポート課題 2 | 敗戦後における上海日本人引揚者たちの意識のあり方について考察しなさい。 留意点: 第6章、第7章及び第8章を学習して、上海日本人引揚者の「歴史意識」・「帝国意識」・戦争責任認識などについて検証すること。 |

基本教材 1

| | |
|--------|----------------------------|
| 第 1 回 | 教材及びシラバスを読み、学修課題と学修方法を理解する |
| 第 2 回 | 教材の学修：序章 |
| 第 3 回 | 教材の学修：第 1 章 |
| 第 4 回 | 課題資料の検索と分析 |
| 第 5 回 | レポート課題 1：初稿の作成 |
| 第 6 回 | レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成 |
| 第 7 回 | レポート課題 1：ピア・レスポンス |
| 第 8 回 | レポート課題 1：最終稿の作成 |
| 第 9 回 | 教材の学修：第 2 章 |
| 第 10 回 | 教材の学修：第 3 章 |
| 第 11 回 | 課題資料の検索と分析 |
| 第 12 回 | レポート課題 2：初稿の作成 |
| 第 13 回 | レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成 |
| 第 14 回 | レポート課題 2：ピア・レスポンス |
| 第 15 回 | レポート課題 2：最終稿の作成 |

基本教材 2

| | |
|--------|----------------------------|
| 第 1 回 | 教材及びシラバスを読み、学修課題と学修方法を理解する |
| 第 2 回 | 教材の学修：第 5 章 |
| 第 3 回 | 教材の学修：補論 |
| 第 4 回 | 課題資料の検索と分析 |
| 第 5 回 | レポート課題 1：初稿の作成 |
| 第 6 回 | レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成 |
| 第 7 回 | レポート課題 1：ピア・レスポンス |
| 第 8 回 | レポート課題 1：最終稿の作成 |
| 第 9 回 | 教材の学修：第 6 章 |
| 第 10 回 | 教材の学修：第 7 章・第 8 章 |
| 第 11 回 | 課題資料の検索と分析 |
| 第 12 回 | レポート課題 2：初稿の作成 |
| 第 13 回 | レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成 |
| 第 14 回 | レポート課題 2：ピア・レスポンス |
| 第 15 回 | レポート課題 2：最終稿の作成 |